

探究科QA パンフレット以外のものについて

Q1 理数探究科の課題研究とはどういうものですか。

A 課題のテーマが、科学や数学に関することに限定されること以外は、酒東の課題研究と変わりありません。また、研究内容によっては、大学等の外部機関から指導助言をいただきながら、進めていきます。

Q2 2年次に上がるときに希望が偏ったらどうするのですか。

A 希望を優先しながらも、面談を通して決めていきます。使用教室や教員数の事情、また、本人の進路希望や特性などを、時間をかけた面談を通して、総合的に判断し決定となります。

Q3 探究科では将来どのような大学への進学を目指すのですか。それは普通科に入学したのでは進学が叶わないということですか。

A 今後の大学入試は、より高いレベルの問題になることが予想されるため、それに、よりふさわしい教育課程を組んだのが探究科です。よって、探究科では、東大京大をはじめとする超難関大学、医学部医学科、東北大などの難関大への進学をめざします。また、普通科でも、通常の授業のほかに、講習や添削指導等を行っていきます。要は、探究科であれ普通科であれ、努力を重ねていくことが大切なことと考えています。

Q4 探究科独自の行事にはどのようなものがありますか。

A 学校行事としては、普通科も探究科も同じです。ただし、探究科では独自に、1年次生全員が、大学等に出向いて、プレゼンテーション力を高める研修を行ったり、2年次国際探究科では、希望者対象で、海外の教育機関等に出向いて発表する体験学習、2年次理数探究科では、全員が、国内の先進的な教育機関等で研修をしたりすることができないか検討しています。

Q5 探究科と普通科の授業では展開のスピードが違いますか。スピードが違うならば当然定期テストの問題も違ってくるのですか。また、その結果、評定による大学受験での有利・不利が生じないか。

A 高等学校においては、学科に関わらず、どの学科でも共通に学習する教科・科目があります。特に探究科では、それを専門教科・科目名で示していますが、専用の教科書はなく、普通科でも使用する教科書を使って学習します。但し、扱う内容に軽重をつけたり、扱う内容の順番を変えたりして授業を進めていくため、定期考査の問題が一部もしくは全部において違ってくることも考えられます。また、専門教科がない教科もあるので、2つの学科で同じ問題になることがあります。有利・不利ではなく、探究科であれ普通科であれ、努力を重ねていくことが大切なことと考えています。

Q6 普通科への入学と探究科への入学では経費的な違いはありますか。

A 研修(修学)旅行等と同様に、外部に出向いたり、特別な講師を招き講座を受講する場合は、普通科であれ探究科であれ、受益者負担となるのが原則であり、参加行事が異なれば、経費面で差が生じることが予想されます。

Q7 普通科より5教科の勉強は少ないのですか？

A 各学年、普通科と探究科で、5教科トータルでの授業時間は、全く同じですが、3年次の普通科文系と国際探究科においては、選択の仕方によって、同じ教科でも総授業時間数が変わってきます。

Q8 大学に入りやすいのは探究科、普通科どちらですか？

A パンフレットにも記載があるように、探究科での学習を通して高い学力を身に付けることで、多様な入試形態に対応する上でプラスになります。

Q9 探究活動により学力が向上するのはなぜですか？

A 探究型学習の過程では、思考力・判断力・表現力が求められることとなります。自ら課題を発見する過程において、その解決のために、学習や授業に対する関心・意欲が増し、日頃の学習や授業により積極的に取り組むようになり、定着も図ることができるからです。また、今後の大学入試においても、思考力・判断力・表現力を問う内容が増える傾向にあり、一早く対応に着手できるとも考えられます。本校においては、課題研究のみならず、通常の授業においても、探究型学習を充実させることによって、全教育活動を通じて、学力向上に努めます。

Q10 理数科と理数探究科の違いは何ですか？

A 専門学科としては同じです。

本校では、理数探究科全員ではありませんが、1年次生の希望者や、2年次生の課題研究で優れた成果を修めた希望者を対象に、海外の教育機関等での研修や、成果の発表ができないか、検討しています。

Q11 普通科と探究科で大学進学先が違うのか？

A 学科で進学先が変わってくることはありません。ただ、変化しつつある大学入試や社会のニーズに対応することを考えると、いわゆる講義一辺倒の授業(生徒が考える時間がない授業や、生徒が主体的に取り組む活動がない授業、対話的でない授業など)だけでは、今や対応できない状況です。したがって、本校では、数年前より全生徒に対して、課題研究に取り組み、AO入試や推薦入試、面接入試等にも対応でき、大学入学後も、将来を見据えた学びや研究ができるよう、キャリア教育を充実させてきました。今回の探究科設置で、探究科ばかりに目がいきがちですが、来年度の普通科でも、課題研究は実施します。但し、探究科では、探究活動が校外行事等含め、やや多くなっています。最後は、3年間の努力が全てです。